



プロジェクト名称

Global Dormitory Project

プロジェクト活動概要

スーパーグローバル大学に採択されている本学生のグローバル意識の向上のために、異文化交流の場を設けられるようなイベントを企画・運営していく。そのようなイベントを通して少しでも多くの人々がグローバル意識をもって海外のことに興味を持ち、留学や大学卒業後の人生において何かしらのきっかけになるような活動をしている。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 留学生と話す機会をたくさん設けて、留学参加したいという人を新たに20人以上作る。
- ② 国際学生寮の寮生の参加者を過半数(46人)にする。
- ③ プロジェクトの活動をInstagramを用いて配信する。フォロワー100人、投稿数20回を目標とする。

イベントには多くの寮生が参加し、50人ほどの寮生が参加してくれている。そのため、寮全体の活性化につながっている。また、SNSの活用も進め、フォロワーも少しずつ増え、現在ではフォロワー数は170名を超え、このプロジェクトを認知してくれる人も増えてきたように感じている。コロナの影響もあり、寮生以外の学生との交流が今年は難しく、やりたいことがすべてできたわけではない。より多くの人々が国際交流に興味を持ってくれるようにこれからもこの活動を積極的にし、イベントの規模を大きくできるよう努めていきたい。

SDGs への取り組み

《SDGs との関連項目》



国際交流は参考書や机に向かって学べることではなく、実際に対面で経験することでしか学べない。しかし、そのような機会を個人的に作り出すことはハードルが高く、簡単なことではない。そこで私たちは国際交流の場を作り出すことを活動意義とし、イベントを通して自らが学べる環境を作っている。

11月：

芝浦祭

芝浦祭の屋台企画として参加した。この活動ではプロジェクトの認知度を上げ、私たちの活動に興味を持ってもらうことを目的とした。販売スタッフとして留学生にも協力してもらいながら「ピューレソーダ」を販売し、無事に目標の販売数を達成できた。たくさんのお客さんと関り国際寮を知ってもらうことができた。したがって、認知度向上につながったのではないかと考える。また、芝浦祭が始まる前からの準備の努力がありとても充実した日々を送ることができた。



12月：

クリスマスパーティー

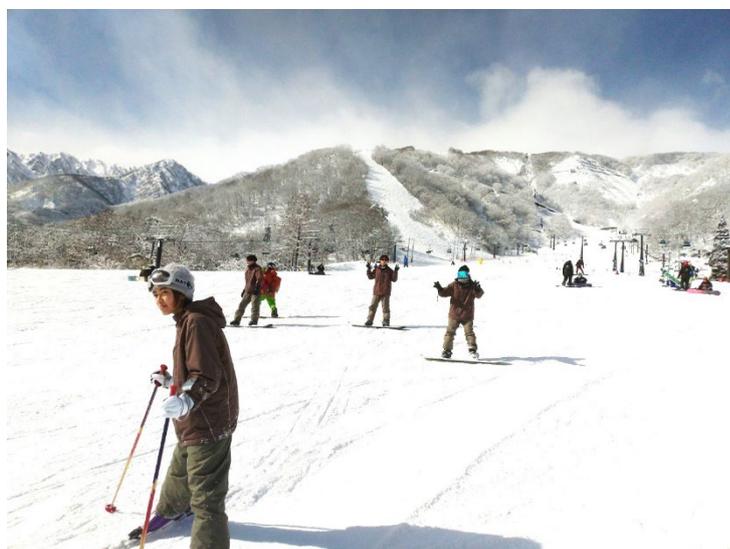
このイベントでは様々なゲームを行い留学生含め、際学生寮の人たちと交流を行うことができた。じゃんけん列車など日本のゲームでも留学生と一緒に楽しむことができた。また、ジェスチャーゲームではお題が難しくなるたびに盛り上がり、チームのメンバーで協力し合い楽しんでいる姿が多く見られた。クリスマスという世界共通のイベントを通し、参加者全員楽しい時間が過ごせたと思う。



1月:

スキーイベント

このプロジェクトにおける今年度最後のイベントとしてスキーイベントを実施した。1泊2日で留学生とともにスキーを楽しんだ。留学生の中には宗教上の理由で食べられるものが制限されているため、あらかじめ旅館側と食事に関して打ち合わせをする必要がありかなり大変なイベントとなったが、その苦勞もあってか皆がこのイベントを楽しんでくれたことが印象的だった。また、初めての人たちに教えあうなど絆が生まれたはずだ。留学生の中にはこのイベントが日本での最後の思い出となるため、とても有意義な時間を作り出せたのではないかと思う。





成果まとめ、今後の活動計画など

コロナの影響が残る中から活動をはじめ、想定していたすべてのイベントを実施することができた。しかし感染対策の観点から参加者を寮生に限らざるを得ない状況が続き、思い通りいかないことも多かった。私たちがイベントを企画・運営する一番の目的は留学生と日本人学生の交流の場を創り出すことであり、その目的は果たすことができたのではないかと思う。これからはもっと規模を大きくしたイベントも実施しやすい環境になってくると思うため寮生以外の学生をはじめ、地域の方々も参加できるようなイベントの実施にも挑戦していきたいと考えている。そのため、来年度以降もしっかり計画を立て目標を実行できるようにプロジェクトメンバー一丸となって行動していきたいと思う。